

## 2004年度 日本エイズ学会第2回理事会 議事録

日 時：平成16年12月10日（金）午前8時～9時  
場 所：静岡県コンベンションアーツセンターグランシップ会議室1003

出席者：木村 哲、味澤 篤、池上千寿子、市川誠一、岡慎一、岡本 尚、木原正博、五島真理為、新庄文明、戸谷良造、根岸昌功、橋本修二、速水正憲、満屋裕明、安岡 彰、山本直樹、吉崎和幸、以上17名

委任状提出者：原田信志、馬場昌範、堀 成美、上田重晴（監事）、以上4名

オブザーバー出席者：三間屋純一（2004年度学術集会会長）、行村勇人、加賀康司、原田浩（メディ・イシュ）、山本暖子（理事長秘書）、以上5名

### 議 題

#### （報告事項）

##### 1) 会員現況・逝去会員（報告者：木村理事長）

会員現況（昨年同期より94名増、団体を含む合計会員数：1667名）の説明がなされた。2003年12月～2004年11月に連絡のあった逝去会員は山田兼雄氏（（財）エイズ予防財団）と堀内高広氏（宮城県立がんセンター）と報告された。両氏に対し、理事会として黙禱を捧げた。

##### 2) 2004年度会計中間報告（報告者：安岡理事）

2004年度会計中間報告が行われた。学会事務センター破産に伴う徴収不能金の発生、業務委託先の変更などによって、2004年度補正予算が立てられた。補正予算は全体として節約的とした。徴収不能金は一般会計で約458万円、日本エイズ学会ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞特別会計で約54万円であった。

##### 3) 日本エイズ学会誌刊行状況（報告者：山本理事）

日本エイズ学会誌6巻（2004年）について、1～4号の刊行状況が報告された。7巻1号の編集を進めており、その特集に「HIVとHCV重感染」を掲載する予定である。

##### 4) 第18回日本エイズ学会学術集会（報告者：三間屋2004年度学術集会会長）

第18回日本エイズ学会学術集会の概要が報告された。第1日目の運営等の協力への感謝および第2日以降の協力への要請がなされた。

##### 5) 第19回日本エイズ学会学術集会（報告者：原田2005年度学術集会会長の代理、木村理事長）

第19回日本エイズ学会学術集会の準備状況が報告された。会期は2005年12月1日（木）～3日（土）、会場は熊本市の市民会館と国際交流会館である。

##### 6) 理事選挙（報告者：木村理事長）

理事選挙の日程が確認された。1月27日に会員へ投票用紙を発送し、2月15日に投票締め切りとする。年度内に新理事会が発足できる見通しである。

##### 7) その他

###### 1. 日本エイズ学会ホームページ

味澤理事から、日本エイズ学会ホームページについて、第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議のニュースを掲載したことなどが報告された。

###### 2. 第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議

木原理事から、第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議について報告された。2005年7月1日～5日に神戸国際会議場等で開催され、基礎、臨床と社会に関するプレナリーセッション12とシンポジウム18などが予定されている。参加登録と抄録投稿などの協力が要請された。

#### （協議事項）

##### 1) 2005年度予算案

2005年度予算案について、安岡理事から説明され、同案が承認された。学術集会補助金として、第19回日本エイズ学会学術集会に150万円、第7回アジア太平洋地域エイズ国際会議に300万円を計上した。

##### 2) 第5回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞

第5回ECC山口メモリアルエイズ研究奨励賞について、木村理事長から同選考委員会の選考結果および理事の持ち回り審議結果が報告された。受賞者として東京大学医学研究所先端医療研究センターの立川 愛氏（受賞対象テーマ：HIV感染における細胞性免疫応答についての解析）、熊本大学大学院医学薬学研究部の前田賢次氏（受賞対象テーマ：ケモカインレセプターを介して抗HIV作用を発揮する新規抗HIV剤の研究）が承認された。（追記：本件授賞式は2004年12月10日（金）の総会で行われた。）

##### 3) 第1回アルトマーク賞

第1回アルトマーク賞について、受賞者として京都大学名誉教授の日沼頼夫氏（受賞対象テーマ：ヒトレトロウイルスの発見とその医科学研究の展開）が承認された。（追記：本件授賞式は2004年12月10日（金）の総会で行われ、引き続いて学会賞受賞講演が開催された。）

##### 4) 第20回日本エイズ学会学術集会

第20回（2006年）日本エイズ学会学術集会会長として、ぶれいす東京の池上千寿子理事を候補者とすることが確認された。これまでの伝統を守りつつ、東京で開催する方向で検討されている。

##### 5) 評議員会・総会

評議員会・総会について、進め方と報告担当理事が確認された。

以上